

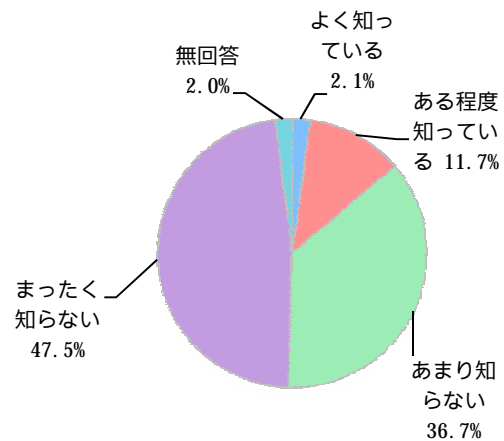
6 郡山市の新たなまちづくり基本指針について

(1) 郡山市の最上位計画である「第五次総合計画」を知っているか聞きました。
(1つ選択)

①全体

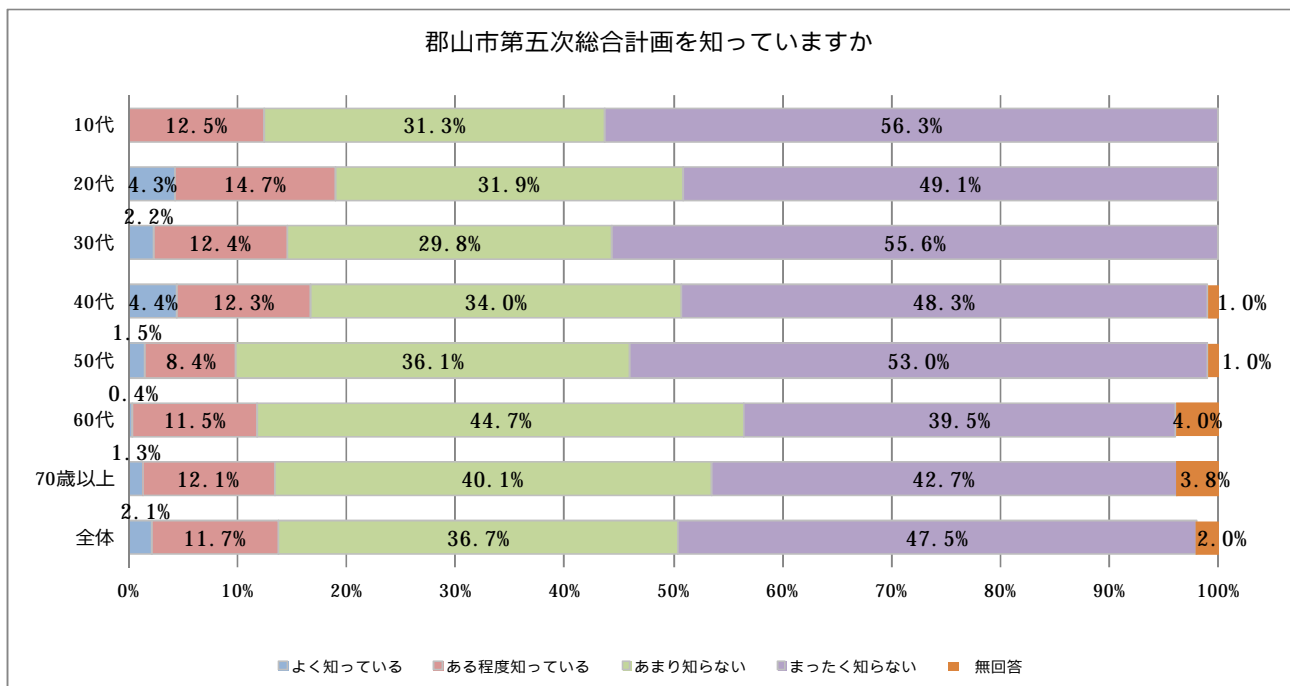
「まったく知らない」が47.5%と最も多く、次いで「あまり知らない」が36.7%となっています。
また、「ある程度知っている」は11.7%、「よく知っている」は2.1%となっています。

項目	回答数	回答率
よく知っている	24	2.1%
ある程度知っている	132	11.7%
あまり知らない	416	36.7%
まったく知らない	538	47.5%
無回答	23	2.0%
計	1,133	100.0%



②年代別

「よく知っている」「ある程度知っている」と答えた割合が最も多かったのは、「20代」の19.0%、次いで「40代」の16.7%、「30代」の14.6%となっています。

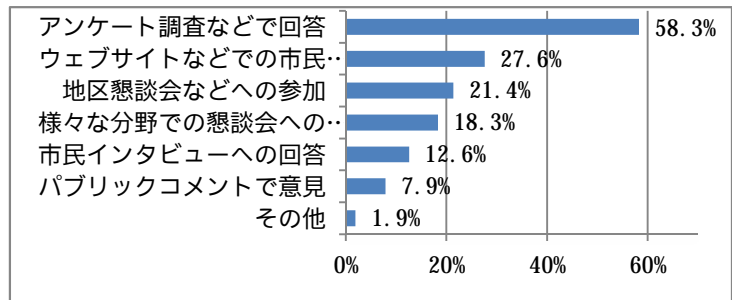


(2) 「第五次総合計画」に代わる、新たなまちづくり基本指針をはじめとする市政の運営方針策定にどのような手法で参加したいか聞きました。(複数選択)

①全体

「アンケート調査などで回答」が58.3%と最も多く、次いで「ウェブサイトなどでの市民提案」が27.6%、「地区懇談会などへの参加」が21.4%となっています。

項目	回答率
アンケート調査などで回答	58.3%
ウェブサイトなどでの市民提案	27.6%
地区懇談会などへの参加	21.4%
様々な分野での懇談会への参加	18.3%
市民インタビューへの回答	12.6%
パブリックコメントで意見	7.9%
その他	1.9%



◆回答率の出し方

7項目からあてはまる番号を全て選択してもらい、選択された数の合計を回答者数で割ります。

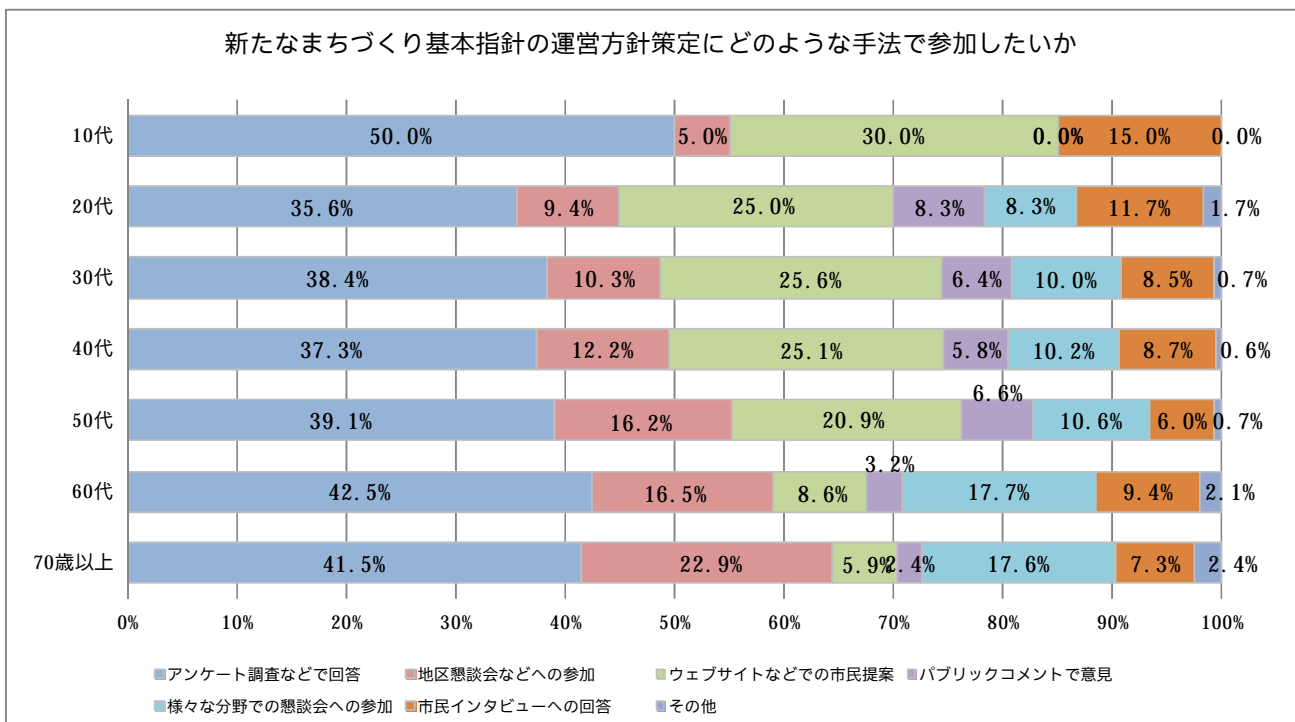
例えば、選択された数が661個だと

661個 / 1,133人 (回答者数)

=58.3%となります。

②年代別

「アンケート調査などで回答」が全年代で多く、「ウェブサイトなどでの市民提案」は年代が低くなるほど多く、「地区懇談会などへの参加」は年代が高くなるほど多くなっています。

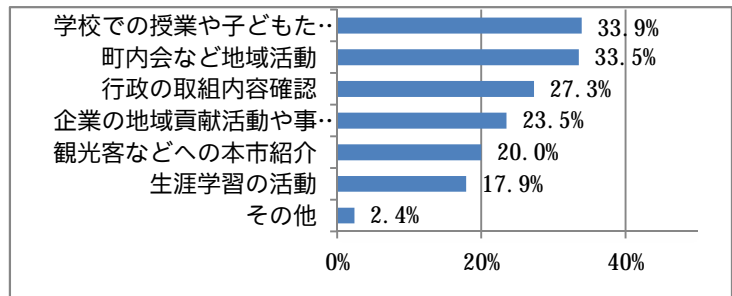


(3) 新たなまちづくり基本指針をどのような機会に活用したいか聞きました。
(複数選択)

①全体

「学校での授業や子どもたちの地域学習」が33.9%と最も多く、次いで「町内会など地域活動」が33.5%、「行政の取組内容確認」が27.3%となっています。

項目	回答率
学校での授業や子どもたちの地域学習	33.9%
町内会など地域活動	33.5%
行政の取組内容確認	27.3%
企業の地域貢献活動や事業創出	23.5%
観光客などへの本市紹介	20.0%
生涯学習の活動	17.9%
その他	2.4%



◆回答率の出し方

9項目からあてはまる番号を全て選択してもらい、選択された数の合計を回答者数で割ります。

例えば、選択された数が384個だと

384個 / 1,133人 (回答者数)

=33.9%となります。

②年代別

「学校での授業や子どもたちの地域学習」が「10代」から「40代」で多く、「町内会など地域活動」や「行政の取組内容確認」は、「50代」から「70歳以上」で多くなっています。

